

旅行じゃなくて農業しない？

のめのの

-No農NoLife-

50か所以上の農家さんを訪問



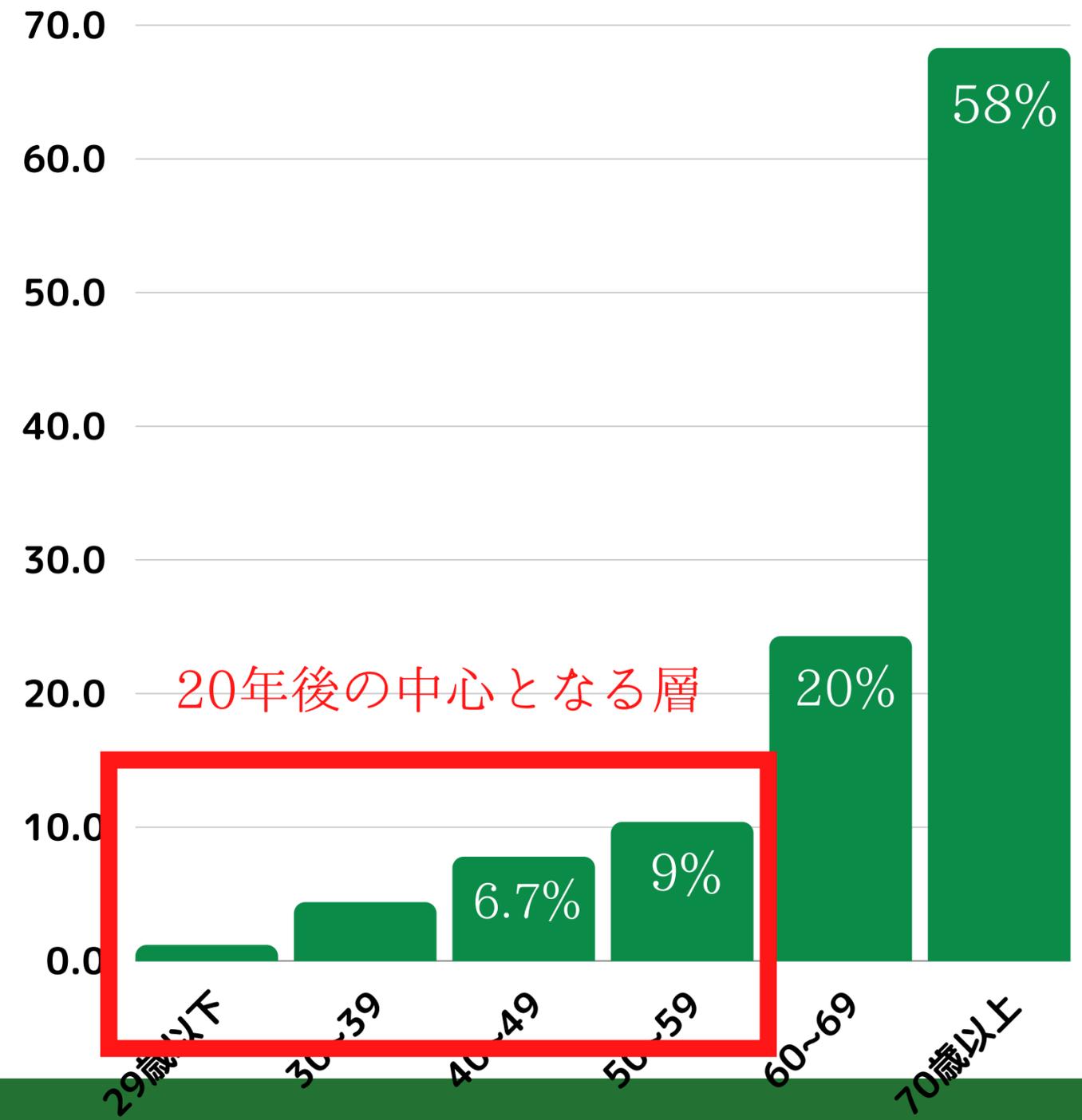
日本の農業の問題

食糧自給率37%

農家の平均年齢68歳

20年後は農家数は1/5

基幹的農業従事者数の年齢構成



日本の農村漁村を
知ってほしい

半農半X型農業ワーケーション



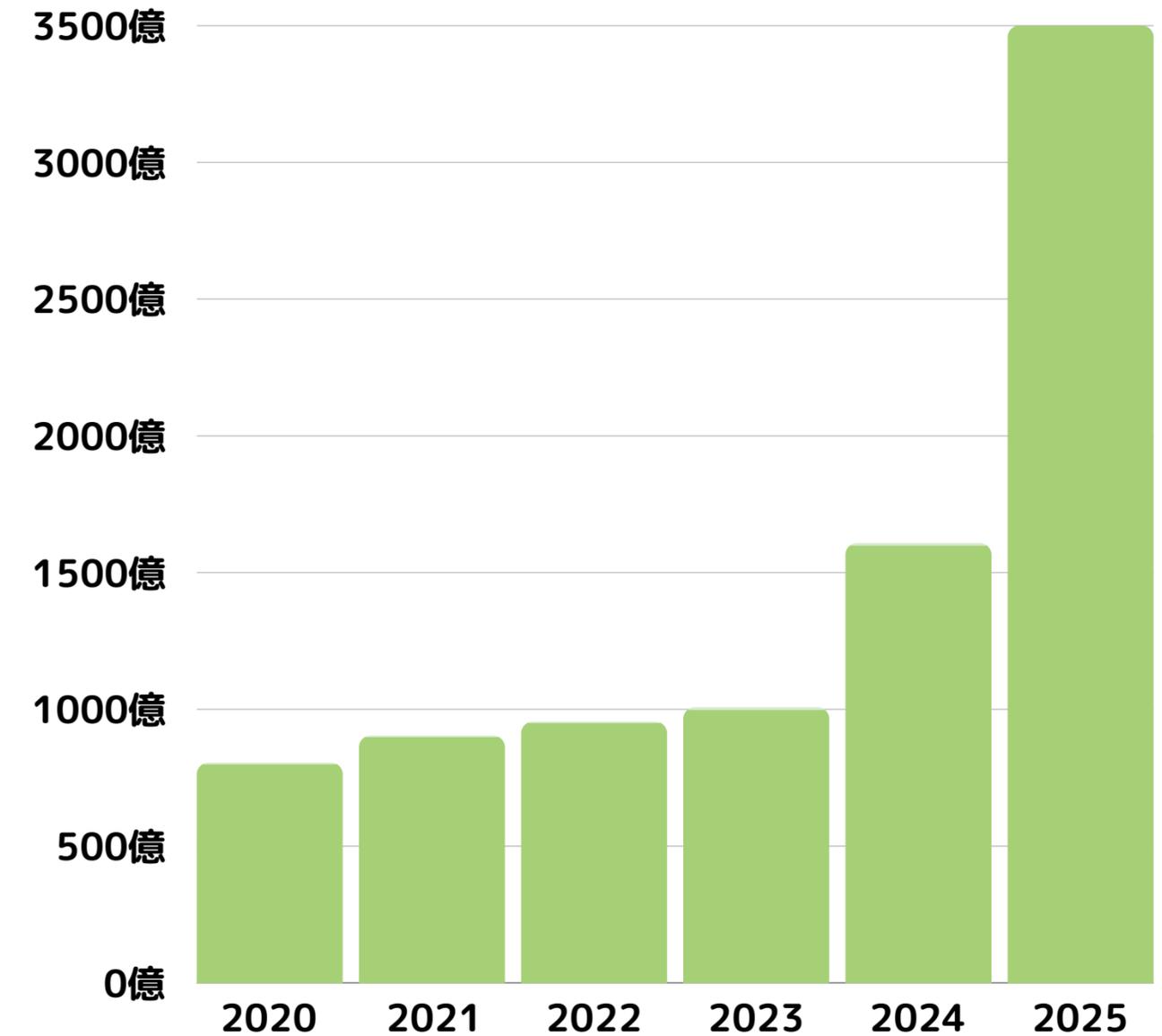
午前は農業

午後は自由

コロナの影響でワーケーション需要の増加

2025年には4000億の市場になると予想されている。

ワーケーション
市場は今後も
右肩上がり



ワーケーションの課題

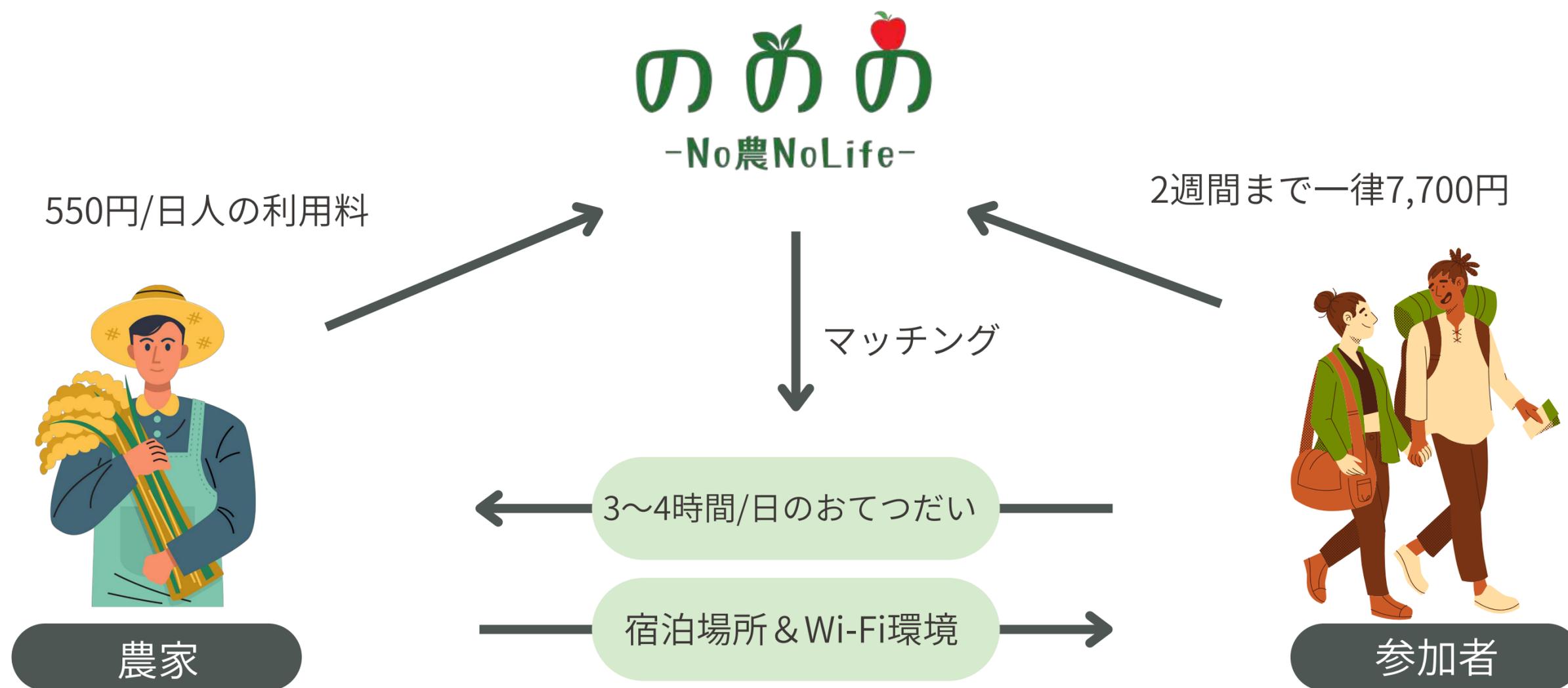
高い

1泊あたり1万～2万

ののの (No 農 No Life) の魅力

一律7,700円で
2週間まで何泊でも！

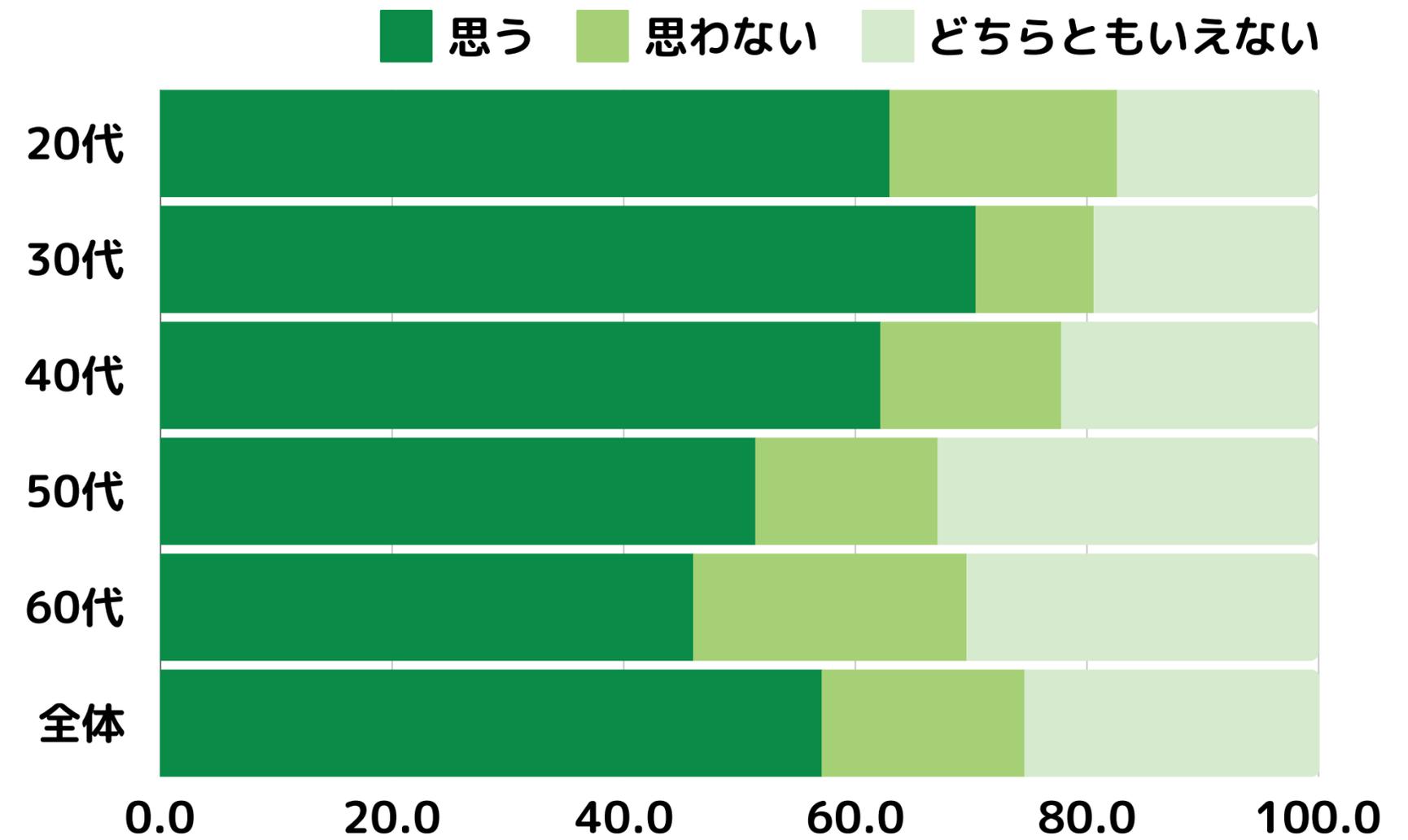
参加者はお手伝いとして4時間農作業をし、農家さんはそれに対する報酬は一切発生しない代わりに宿泊場所とテレワークできる環境を用意します。



ターゲット

「あなたは農作業体験をしたいと思いますか？」

**農業をしたい
ニーズは
どの世代も高い！**



(資料) 平成27年度第2回インターネット都政モニターアンケート結果「東京の農業」2015/8/10東京都生活文化局

ターゲットの課題

仕方がわからない

ガチでやるほどでもない

機会がない

農業

×

X

農業

×

觀光

農業

×

仕事

農業

×

授業

農業

×

研修

農業

×

ア

ー

ト

農業

×

エンタメ

農業

×

可能性

No農NoLifeの理念

「農」への仕切りを
限りなく低くする

都市から農村へ
新たな人の流れを創造

実績



提携農家70件





山形県鶴岡市

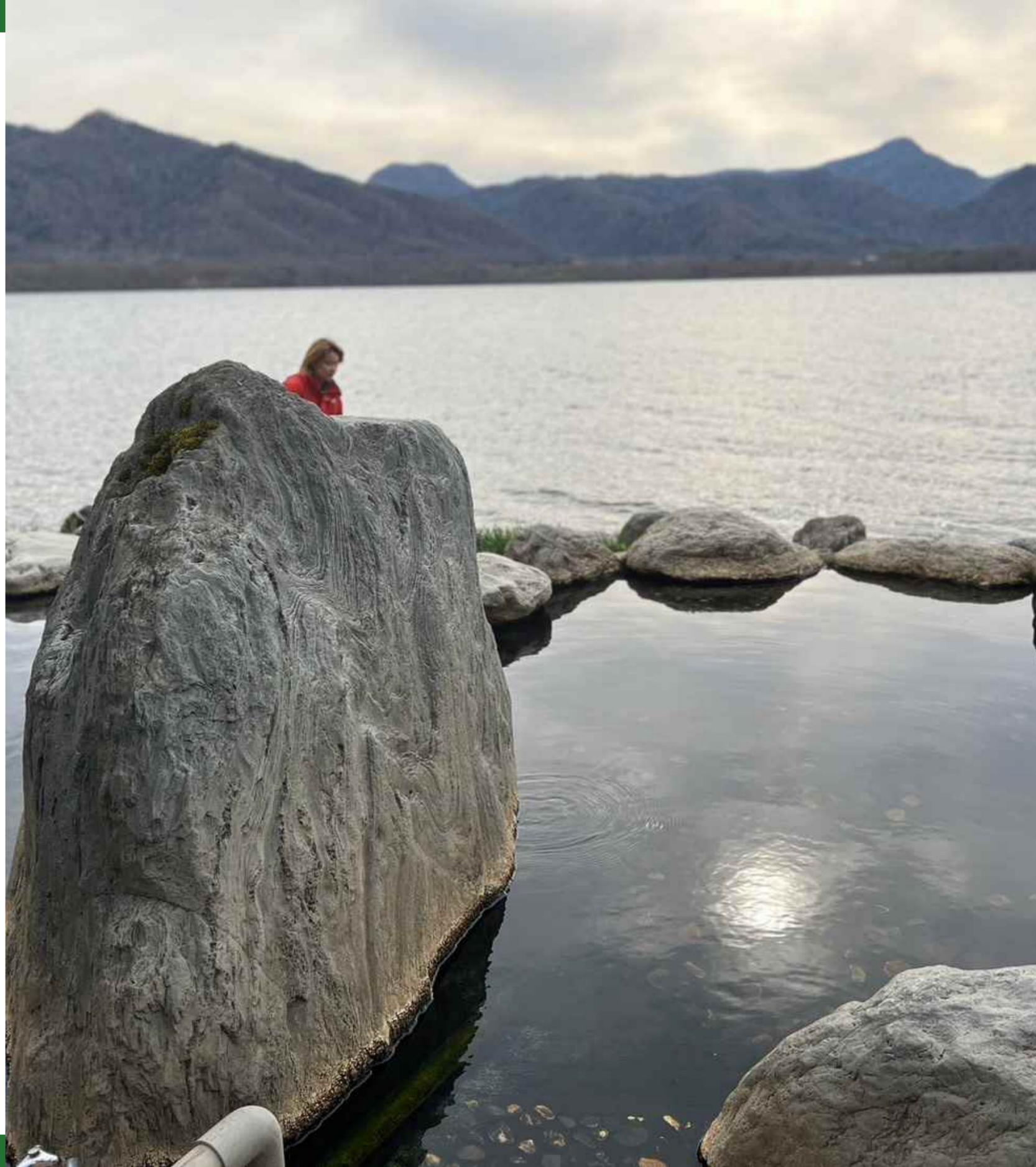


酪農

北海道弟子屈町



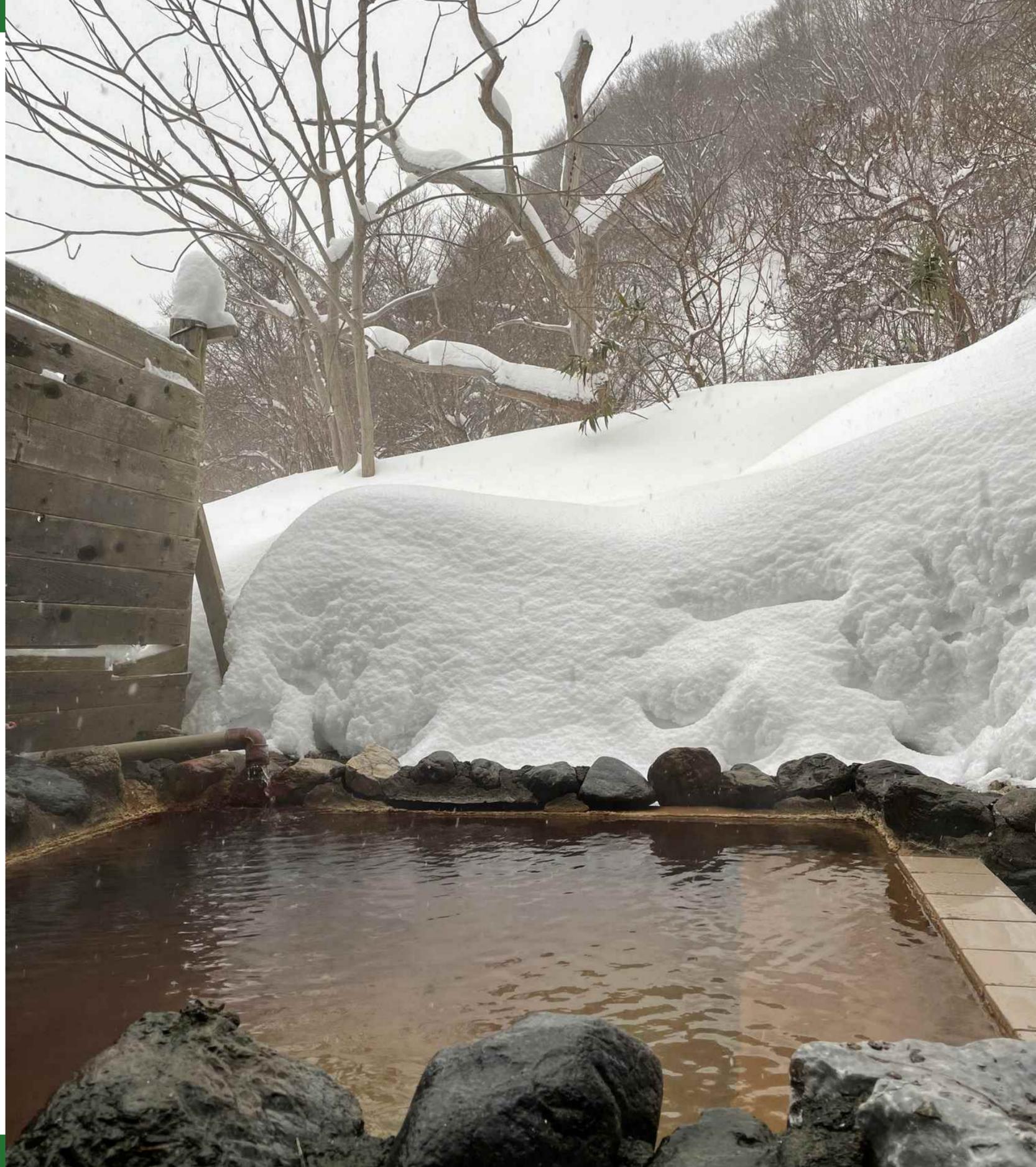






北海道島牧村





正確なマッチングを行うためのサイト情報

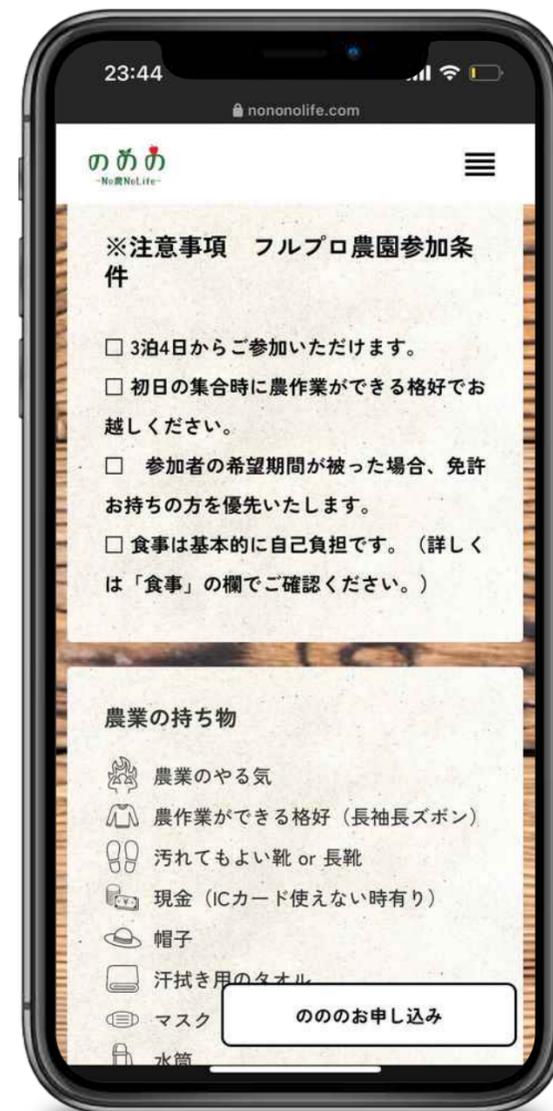
①農家さん基礎情報



②のののスケジュール



③参加条件 宿泊場所情報



④地域の観光名所



⑤レビュー機能



実績

累計参加者300人突破
満足度農家と利用者共に5点満点中平均4.5以上



農家さんにとっての金銭的メリット

1週間1人の受け入れで
10,000円～54,600円

1カ月で

40,000円～218,400円相当
の費用が浮く

農家受け入れ後のアンケート

過去に受け入れを実施した85回におけるアンケート調査。

それぞれの項目の満足度を5点満点で評価していただいています。

農作業の効率やスピードにおいて一部不満の声はあるものの期待値通りの成果を得られています。

【全体的な満足度】

4.6 / 5.0

【農作業内容（量や時間）】

4.3 / 5.0

【参加者の真面目度】

4.8 / 5.0

【農業スキル（スピードや効率）】

4.2 / 5.0

【コミュニケーション】

4.6 / 5.0

参加者について

学生

春休みや夏休みシーズンは学生が多く参加します。
1週間くらいで遠い場所にあえて行く方も多くいます。

フリーランス

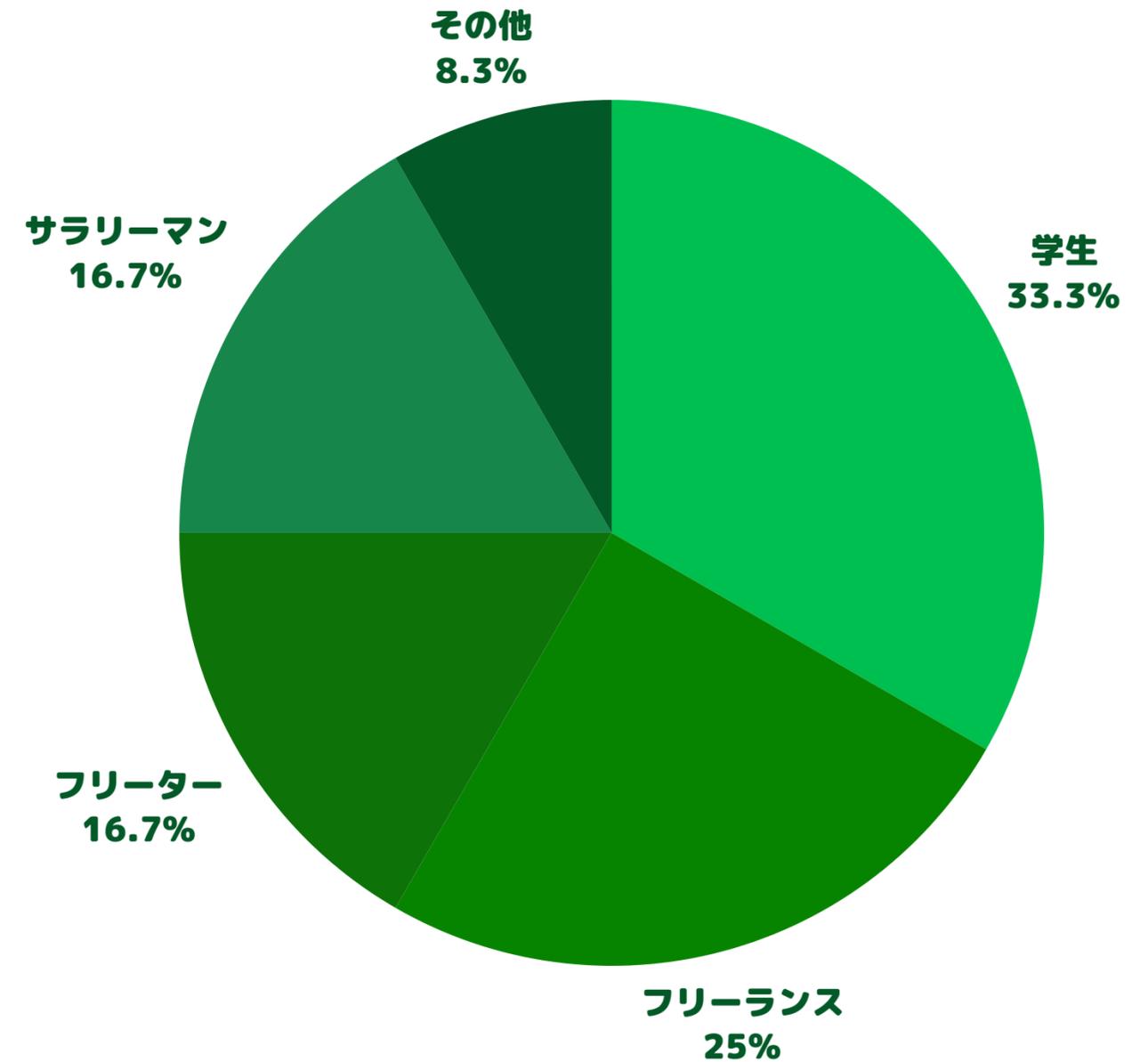
年中特に時期問わず参加されます。プライベート空間やWi-Fi環境を気にしている方が多いです。

フリーター

転職活動中の方が参加されています。期間は長めで場所も問わず参加されています。

サラリーマン

”ののの”は副業扱いにならないため、土日や連休を利用して参加されている方も多くいます。参加期間は短めで近い場所に参加される方が多いです。



農家さんの声



農家の負担は滞在費とテレワークできる環境のみなので、大体1,000円～3000円で済むことが多い。普通にパートを雇うより良い。農家の救世主になるサービスだと思う。

北海道農家さん

SNSが強い方や、スキルを持たれている方が多く、一緒にプロジェクトをやったり、HPを作ってもらったり、農業ワーケーション後に商品を購入してもらったり、様々な繋がりが全国にできる。

長野県農家さん

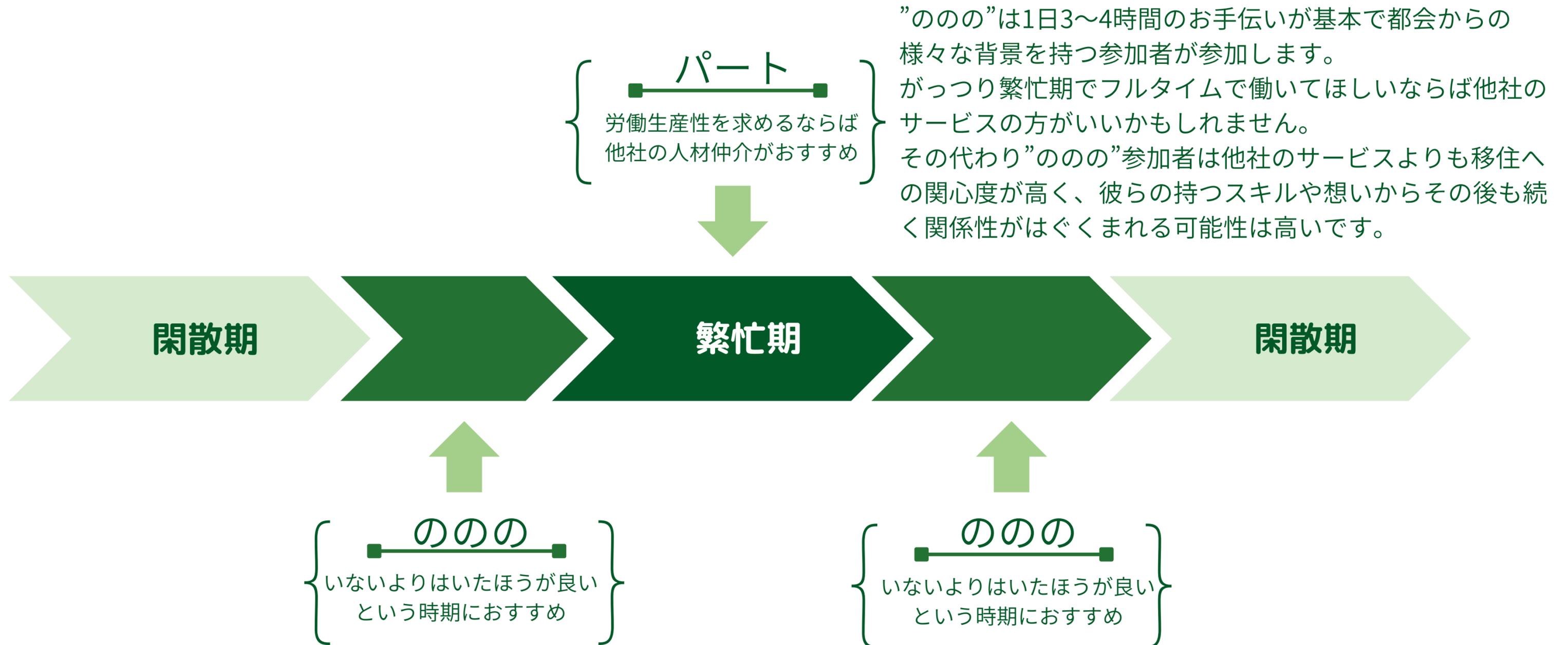


初めての受け入れでしたが、とても良い方で本当に別れが惜しかったです。私達の想いに共感してもらい、真面目に誠実に業務に取り組んでもらえて大変満足しています。

鹿児島県農家さん



14 おすすめの受け入れ時期



農家と地域の魅力をPR



北海道・新篠津

100年続く北海道の有機農家大塚ファーム

3泊4日～ 通年募集

大塚ファーム
札幌から一番近い新篠津村で有機栽培に取り組んでいます

メイン商品
有機干し芋は年間10万バックも生産!

北海道で100年続く歴史ある農家

午前中はミニトマトやズッキーニの収穫

午後からは北海道の広大な自然を堪能

仕事環境も問題なし!

受入期間 通年

リジェネラティブ (再可能能) な農業を

北海道 当麻町

半日はアスパラやトマトの収穫

朝7時～11時でアスパラやトマトの収穫作業のおてつだい

DIYを手伝うことも

もう半日は仕事や観光などなんでもOK

ピザ窯でみんなで料理してもOK

自然にふれてもいいし 旭山動物園など観光してもよし

移住者もでています

あ！1番伝えたかったことが抜けてた！
私が移住決心できたのはののののおかげです👉😊

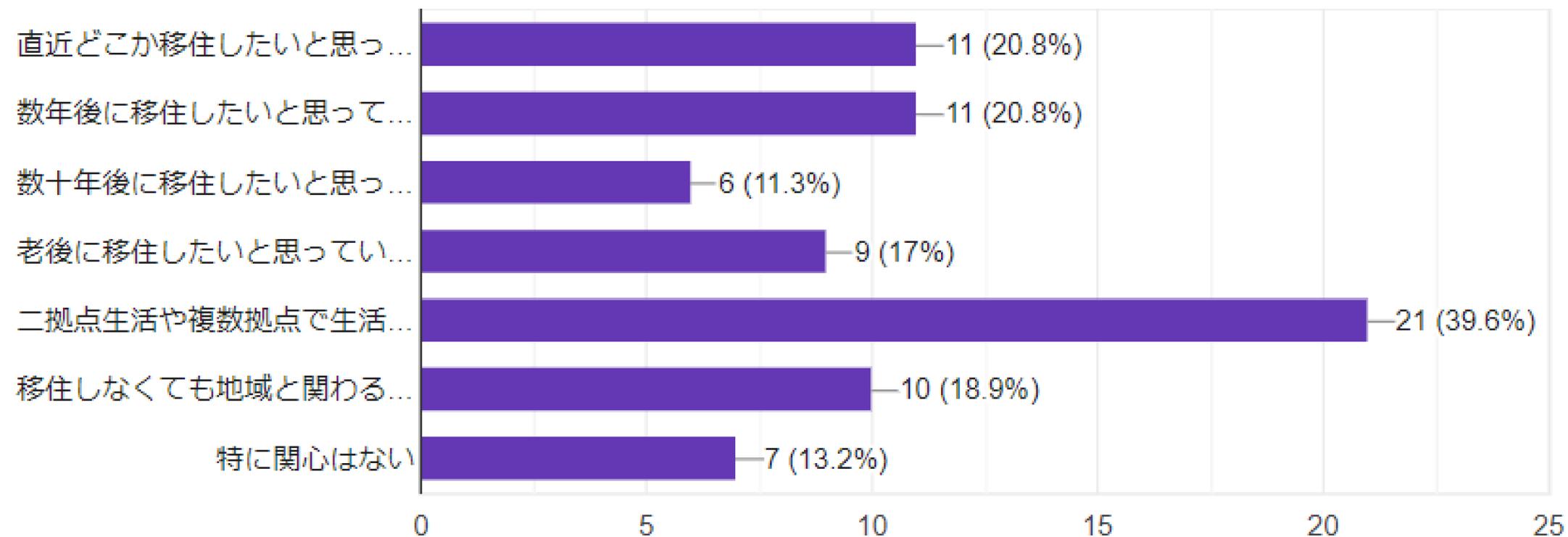
通山家の皆さんには、農業ワーケーションという言葉だけでは表せないほどたくさんさんの経験をさせていただきました！
このような機会をいただき、本当にありがとうございます！

社会人になってからだからこそ感じるものもたくさんあった、かけがえのない3日間でした。

ののの参加者の全体の6割が10年以内に移住したい

移住への関心度をお聞かせください

53件の回答



ののの参加後アンケートにおける、移住への関心度合いの数値で「直近～数十年後に移住したい」と回答した方は62%以上を占めており、昨年度も実際にUターンとして東京から地元へ貢献するために戻られた方もいらっしゃいます。

地域や農家へのメリット



経済効果
地域の魅力PR



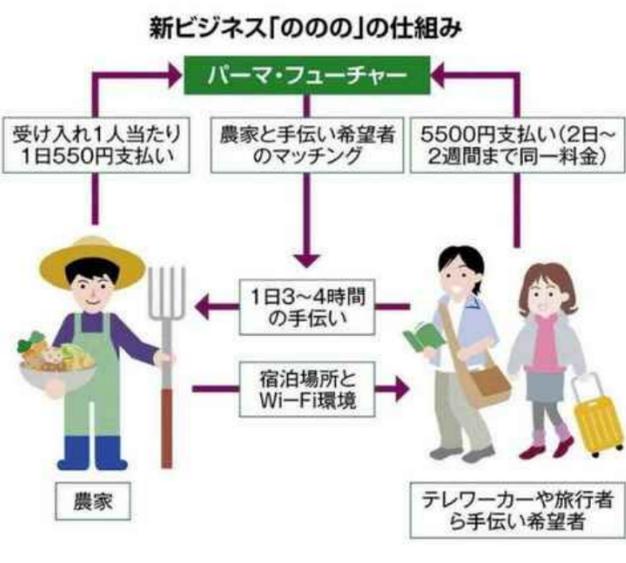
農家の人手不足解決
空き家活用
農の関心層の増加



関係人口創出
移住支援

北海道新聞

数時間作業 見返りに宿泊場所提供



「ののの」に登録する余市町の果樹農家で農作業を手伝う池田さん(昨年10月「パーマ・フューチャー」提供)

「ののの」に登録する余市町の果樹農家で農作業を手伝う池田さん(昨年10月「パーマ・フューチャー」提供)

北大院生が事業化 交流促す

北大大学院生が設立したスタートアップ(新興企業)の「Perma Future(パーマ・フューチャー)」は、農村に滞在したいと考えているテレワーカーや旅行者と、農作業の人手を求める農家をマッチングするビジネスに取り組んでいる。昨年7月に全国で事業を始め、これまで約200人が利用。移住や長期滞在につながる可能性もあり、定住しなくても地域と関係を持ち続ける「関係人口」の拡大を目指す。

登録している農家などは全国60軒あり、このうち道内は後志管内余市町の果樹農家や同管内留寿都村の野菜農家など8軒。60軒のうち漁業者は4軒登録している。全体で月に30~40人ほどの利用者がいるという。

池田さんは北大大学院に入る前の明治大在学中から農業に関心を持ち、全国の農家を訪ね歩いた経験がある。その中で農業従事者が減り、高齢化が進んでいることを知り、多くの人が農業に関心を寄せる必要性を痛感。農村と都市部の人の交流を生む事業を立ち上げることになった。

今後、登録農家を500~600軒とし、利用者を月100人まで増やしたい考え。利用者の中には手伝いをきっかけに首都圏から鹿児島県に移住した人や、余市町に1カ月単位で繰り返し滞在するなど「プチ移住」をした人もいるという。池田さんは「事業を通じて、農村と都市部の垣根を低くし、身近に農業を感じるような人を増やしていきたい」と話している。

農家の登録や問い合わせは池田さんの電子メール(permafut@earthmind.official.com)。(徳永川)

農家と滞在希望者つなぐ

北大大学院生が設立したスタートアップ(新興企業)の「Perma Future(パーマ・フューチャー)」は、農村に滞在したいと考えているテレワーカーや旅行者と、農作業の人手を求める農家をマッチングするビジネスに取り組んでいる。昨年7月に全国で事業を始め、これまで約200人が利用。移住や長期滞在につながる可能性もあり、定住しなくても地域と関係を持ち続ける「関係人口」の拡大を目指す。

人手不足解消目指す

パーマ社は、北大大学院環境科学院修士2年の池田航介氏が2022年1月に設立した新興企業。「農業がなければ人の暮らしは成り立たない(NO農NO LI)」というテーマに

人手不足解消目指す

【岩見沢】空知信用金庫は12日、農村に滞在したい旅行者らと、農作業の人手を求める農家をマッチングする事業を展開する企業「Perma Future(パーマ・フューチャー)」(静岡県沼津市)と業務連携した。信金側が空知管内の農家にサービスをPRし、人手不足解消に役立てるとともに、地域の関係人口の増加にもつなげることを目指す。

空知信金 新興企業と連携 農家と旅行者つなぐ事業支援



ちなみ、札幌を拠点に昨年7月から「ののの」と名付けたサービスを展開している。旅行者やテレワーカーがパーマ社のホームページから農家を選択。1日3~4時間、農作業を手

締結式で握手をするパーマ・フューチャーの池田航介社長(左)と空知信用金庫の熊尾憲昭理事長

伝い、農作業以外の時間は自由に過ごす仕組み。給料は支払われず、農家

側は宿泊場所とWi-Fi環境を提供する。旅行者側は利用料金として7700円(2週間まで)、農家側は手伝いを受け入れた際に1人1日550円をパーマ社に支払う。これまでに首都圏を中心に約300人が利用。農家の登録は無料で、全国で70軒、道内は約20軒が登録している。今後、同信金が顧客などへの周知を進め、農家の登録につながる。観光振興などにも効果が波及する可能性があり、12日の締結式で同信金の熊尾憲昭理事長は「地域の情報やネットワークを生かし、地域経済の活性化に少しでも貢献したい」と期待。パーマ社の池田社長は「空知は札幌から近く、利用者が参加しやすいのが強み。いろいろな農家さんに入ってもらいたい、空知に来る人を増やしたい」と話した。(野呂有里)



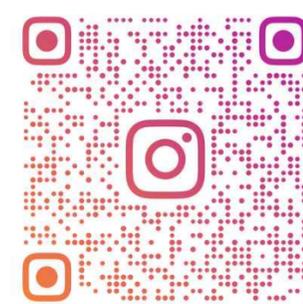
のめのの × X
-No農NoLife-

「農」への仕切りを
限りなく低くする



公式HP

Instagram



農家さんにとっての金銭的メリット

1週間1人の受け入れで**10,000円～54,600円**
1カ月で**40,000円～218,400円**相当の費用が浮く

パートを4時間の場合

時給：1,000円～1200円

交通費：500円

昼ご飯：500円

派遣手数料：1,000円～2000円

合計：**6,000円～7800円/人**

「ののの」の場合

【はなれや空き家を所有していてテレワークできる環境もある場合。】

昼ご飯：500円（任意）

利用料：550円

合計：**0～1000円**

オンライン面談について(希望者のみ)

オンライン面談について

希望者のみとなりますが、オンライン面談（30分程度）を設けることにしました。

電話でもZOOMでも可能ですので、開始1～2週間前の期間で直接お話位いただけますと幸いです。

※希望がない場合は、運営の方で参加者との個別面談を実施いたします。

キャンセルや日程変更について

基本的には日程確定後、受け入れ側も参加者側も日程変更やキャンセルはできません。どうしても変更を希望の場合は参加者に同意の上でしたら可能です。変更する場合はメールにてご相談してください。

また、保険の関係もございますので、変更が決まりましたら運営まで必ずお知らせください。

刃物を利用したお手伝いや機械を使う場合

機械や刃物の仕様はできるだけ避けていただき、単純作業（収穫、箱詰め等）を行うことをおすすめしています。どうしても機械や刃物を使う場合は、当事者間での自己責任としてご使用ください。

”ののの”の税務処理について

1日3～4時間のおてつだいは「労働」には当てはまらない。

1日3～4時間のおてつだいに対して、金銭的報酬が払われるわけではない、作物のお礼も必須の条件ではないことから”ののの”で行う3～4時間のおてつだいは労働とはなりません。

ボランティアという枠組みに入ります。

税務上の処理について

受け入れホストが参加者の受け入れにおいて支払った経費（食費や送迎日、宿泊費等）は受け入れホストが計上する際、「宣伝・広告費」と仕分けするのが一般的です。

宿泊業の有無について

”ののの”において参加者が宿泊費として受け入れホストに金銭を払っていないため、受け入れホストは宿泊業や民泊業を申請する必要はありません。事業として宿泊として金銭を受け取る場合のみこれらの資格が必要になってきます。